

# エコアクション21 環境経営レポート

2020年9月~2021年8月

(事業年度:第72期)

2021年11月1日 発行



**IDE** 株式会社 **井出組**

<http://idegumi.co.jp>

## 目次

---

	頁
1. 事業の概要 .....	1
2. 事業規模 .....	1
3. 認証・登録範囲 .....	1
4. 環境経営方針 .....	2
5. 環境経営目標 .....	3
6. 環境経営計画 .....	4
7. 環境経営目標の取組結果の確認と評価 .....	5
主要数値の3ヶ年推移グラフ（本社） .....	6-7
（参考）現場の主要数値3ヶ年実績と推移グラフ .....	8-9
8. 環境経営計画の取組結果の確認と評価及び次年度取組内容 .....	10
9. 環境上の緊急事態の準備及び対応 .....	11
10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 .....	11
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示 .....	12
資料1 株井出組エコアクション21の取組体制 .....	13

## 事業の概要

事業所	株式会社 井出組	
代表者	代表取締役 井出 正浩	
会社設立	1950年(昭和25年)5月4日	
所在地	〈本社〉静岡県富士市島田町2-115 TEL 0545-52-5100 FAX 0545-53-7731	
	〈沼津支店〉静岡県沼津市井出635	
	〈御殿場営業所〉静岡県御殿場市萩原443-1	
	〈富士宮営業所〉静岡県富士宮市若の宮町461	
管理責任者 及び担当者	管理責任者	天野 毅
	担当者 (事務局)	芦澤 真吾・杉山 守
事業の概要	土木工事、建築工事、住宅工事、不動産関連事業等の総合建設業務 〈許可・登録番号〉 特定建設業 静岡県知事 (特-29)第037193 1級建築事務所 静岡県知事 (12)第1109 宅地建物取引業 静岡県知事 (11)第4920	

## 事業規模

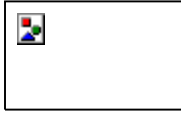
項目	単位	第70期 2018.9~2019.8	第71期 2019.9~2020.8	第72期 2020.9~2021.8
完工高	百万円	4,447	4,232	4,862
従業員(毎年9月) *代表者を含む人数	人	70	68	69
本社床面積 (事務所部分)	m <sup>2</sup>	2,258.2 (1,694.7)	2,258.2 (1,694.7)	2,258.2 (1,694.7)
支店事務所面積	m <sup>2</sup>	35	35	35

\*72期、71期、70期の完工高にはJV工事は含まない。

## 認証・登録範囲

対象範囲	全組織・全活動
適用事業所	本社、沼津支店、御殿場営業所、富士宮営業所
適用構成員	役員及び従業員

## 株式会社井出組



大自然を包むグローバルな知性 (Intelligence)  
快適なライフステージを建設するパワー (Development)  
未来を創るしなやかな感性 (Establishment)

## 環境経営方針

### [環境経営理念]

株式会社井出組は、大自然を包むグローバルな知性を駆使し、都市と自然を調和させ、快適なライフステージを創り、自然環境に優しく、心の安らぎを創造できる新しい建設事業をめざします。

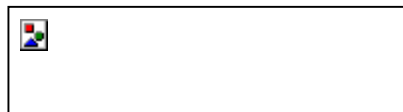
### [基本方針]

我々建設業としての企業活動は、環境に対し直接、間接に様々な影響を及ぼしていることを認識し、環境に配慮した継続的な活動をすすめます。

1. 環境負荷の低減を図るため、以下に示す重点項目を定め、環境保全に努めます。
  - (1) 省エネルギー・省資源を心がけ、CO2削減や節水に努めます。
  - (2) 廃棄物の発生抑制、リサイクル、適正処理に努めます。
  - (3) 物品、資機材等の調達では、グリーン購入に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例等を遵守し、地域社会との協調に努めます。
3. 環境配慮の技術導入、提案、施工に努めます。
4. 環境経営方針は、当社で働くまたは当社のために働くすべての人に周知します。また、社外から要求された際には公開します。

改訂年月日：令和2年11月1日

株式会社 井出組  
代表取締役



## 環境経営目標

本社(沼津支店を含む)のみの目標数値とする。現場については、受注した工事内容(数・種類・規模等)により数値が大きく左右され数値統制ができないため、目標数値は定めないが削減に努める。

項目	単位	基準値・管理点	当年及び中期目標			
		2019年度・71期 (2019.9~2020.8)	2020年度・72期 数値・前年度比	2021年度・73期 数値・前年度比	2022年度・74期 数値・前年度比	
1. 電力使用量	kWh	81,072	80,261 △1.0%	79,458 △1.0%	78,664 △1.0%	
2. 燃料 使用量	(1) ガソリン	ℓ	57,636	—	—	—
	(2) 軽油	ℓ	4,321	—	—	—
	(3) LPG	Kg	132	—	—	—
3. CO2 排出量	kg-CO2	176,555	174,789 △1.0%	173,041 △1.0%	171,311 △1.0%	
4. コピー用紙使用量	Kg	1,306	1,293 △1.0%	1,280 △1.0%	1,267 △1.0%	
5. 水使用量	m <sup>3</sup>	422	—	—	—	
6. 一般ゴミ発生量	Kg	344	340 △1.0%	337 △1.0%	333 △1.0%	
7. 産業廃棄物発生量 (会社全体数量)	t	14,766	—	—	—	
9. 省エネ製品の宣伝・普及	普及製品数		普及製品数の増	普及製品数の増	普及製品数の増	
10. 省エネ・省資源につな がる部門取組の推進 (定性目標として設定)	(事業部門) 粗利益の改善		取組の推進	取組の推進	取組の推進	
	(営業部門) 受注件数の増		取組の推進	取組の推進	取組の推進	
	(事務部門) コストの削減		取組の推進	取組の推進	取組の推進	

\*注記 ① 水使用量は、生活用水のみで使用量が少ないため目標値は設定しないが節水に努める。

② ガソリン・軽油・LPGの使用量、産業廃棄物発生量は、受注工事内容により数値が大きく左右されるため目標値は設定しないが削減に努める。

③ 電力のCO2排出係数(調整後)は、0.386kg-CO2/kwh(2018・H30年度鈴与商事(株)の数値)とする。

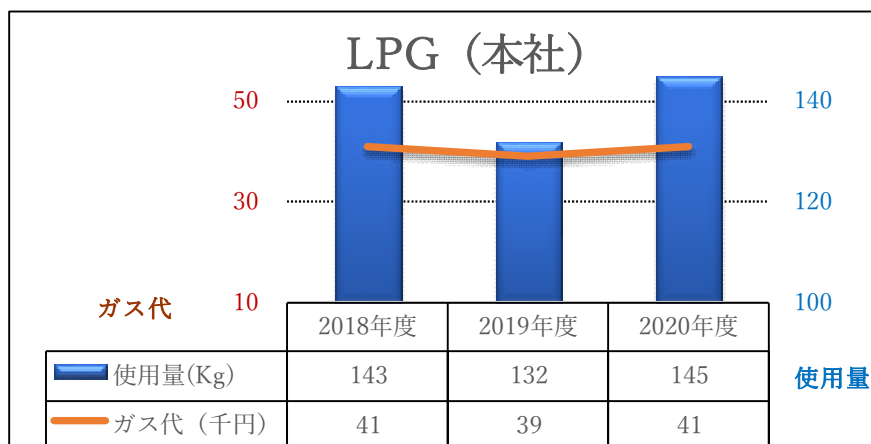
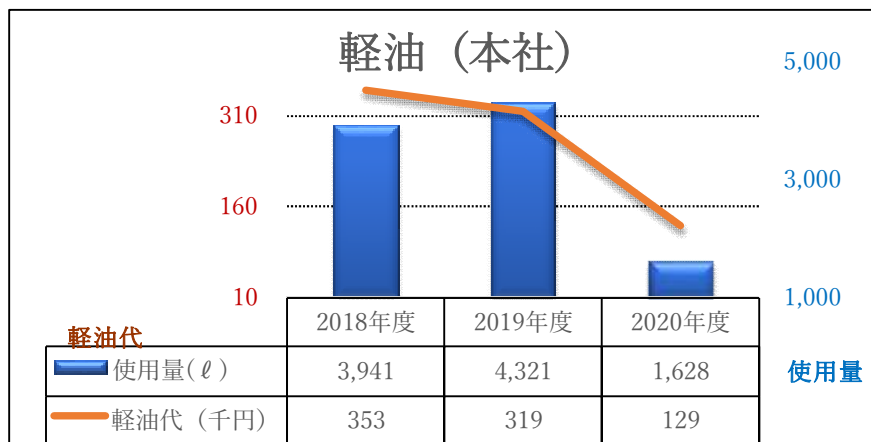
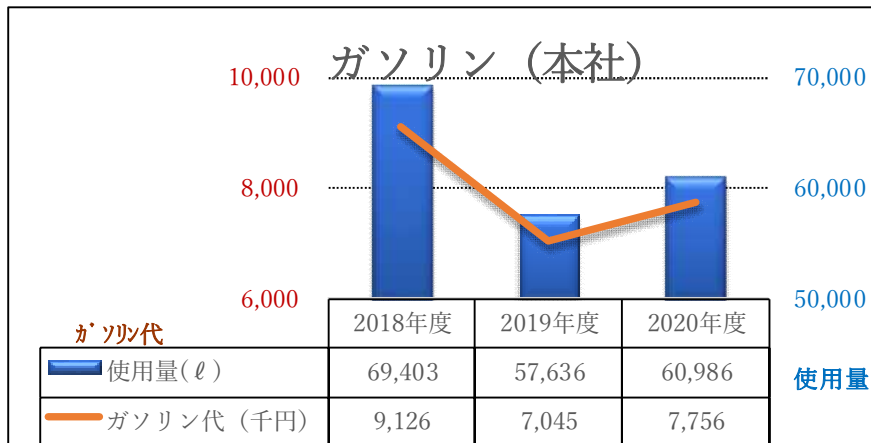
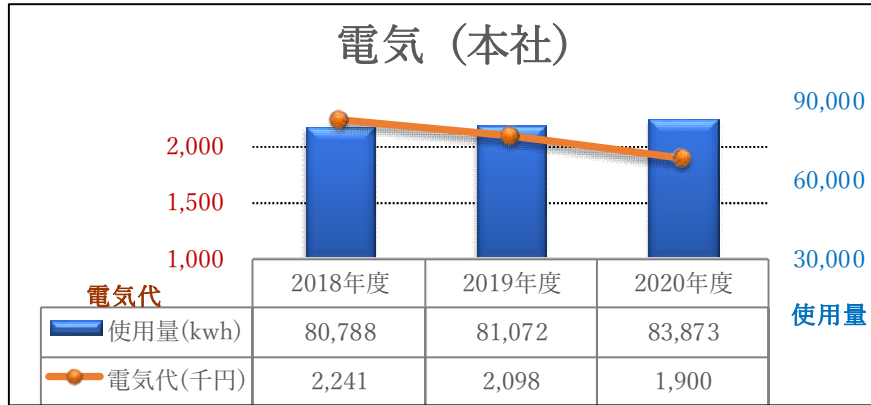
## 環境経営計画

取組	活動	上：責任者	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
		下：担当者	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
(1) 電力使用量の削減	①節電運動の展開 ②カーブルース、ウォームブルース運動	各部門の責任者	●不要照明・パソコン消灯 →											
		全社員	●エアコン設定温度管理（夏26～28℃・冬20～23℃）→ ●ウォームブルース（12/10～3/31） → ●カーブルース（5/21～9/30） →											
(2) コピー用紙使用量の削減	①片面コピー紙の再利用 ②プレビュー確認と試しコピーで印刷ミスの削減	各部門の責任者	●裏紙利用（再コピー・再生紙に活用） →											
		全社員	●プレビュー・試しコピー（印刷ミスの削減） →											
(3) 一般ゴミの削減	①紙ゴミ分別の徹底 ②再利用可能なファイルの回収	各部門の責任者	●紙ゴミ分別（紙ゴミはサイクル回収箱に） →											
		全社員	●ファイルの回収 →											
(4) 燃料使用量の削減	①車両・重機の省エネ運転の励行 ②運転者への教育の徹底と協力要請 ③対象車両燃費調査の継続	工事部門の責任者	●省エネ運転（急操作・急加速禁止、不要アイドリング防止等） →											
		現場責任者 安全部と機材課社員	●教育実施・協力要請（業者従業員含む） → ●燃費調査 →											
		各部門の責任者	●日常的節水活動 →											
(5) 水の使用量の削減	①節水の励行（手洗い等で蛇口をこまめに閉める習慣の徹底）	全社員												
		各部門の責任者												
(6) 産業廃棄物量の適正化	①廃棄物量実績把握の継続 ②廃棄物の分別推進	工事部門の責任者	●廃棄量の把握 →											
		現場責任者	●分別推進 →											
(7) 製品・サービスに関する取り組み	①省エネ製品の導入状況の把握 ②省エネ製品の宣伝・普及	営業部門の責任者	●導入数把握（ソーラー、エコキュート、エコウォース、エコイル、ヘアガラス等） →											
		営業部社員	●宣伝・普及 →											
(8) 社会貢献・環境改善活動の推進	①会社周辺の清掃活動 ②エコキャップ運動（ペットボトルのキャップ回収）	環境管理責任者	●清掃活動（月1回） →											
		全社員	●キャップ回収 →											
(9) 環境教育の実施	環境管理責任者	●教育実施 →												
	各部門責任者・現場責任者													
(10) 省エネ・省資源につながる部門取組の推進	各部門責任者	●（事業部門）工期短縮 →												
	全社員	●（営業部門）補助金の調査・活用 → ●（事務部門）ムダの排除 →												

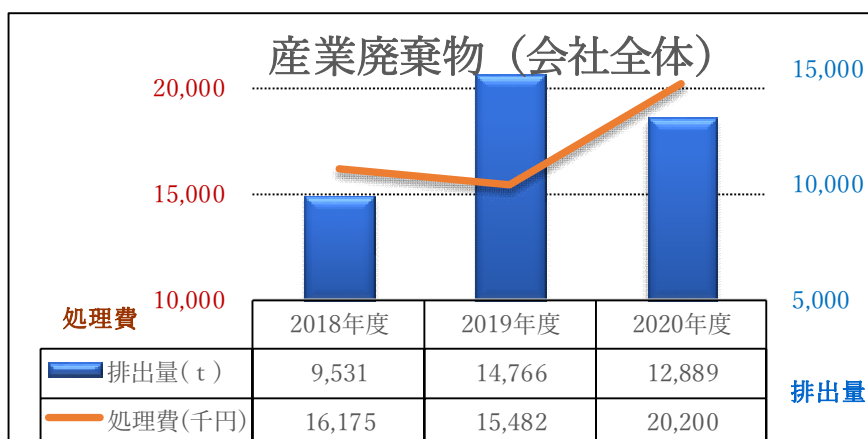
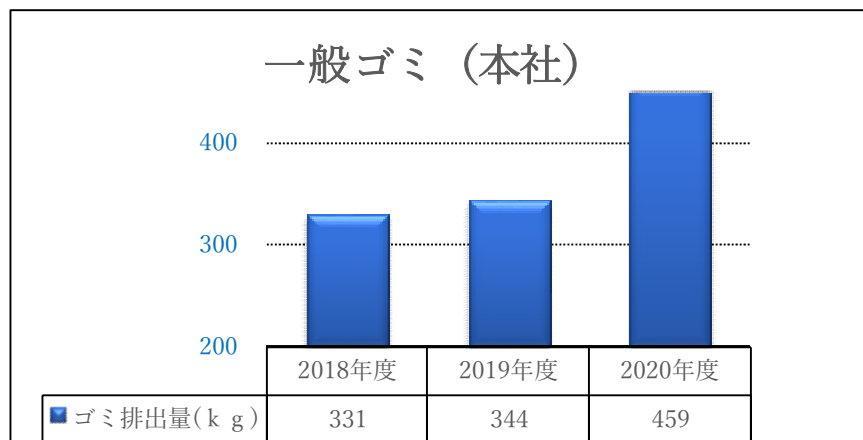
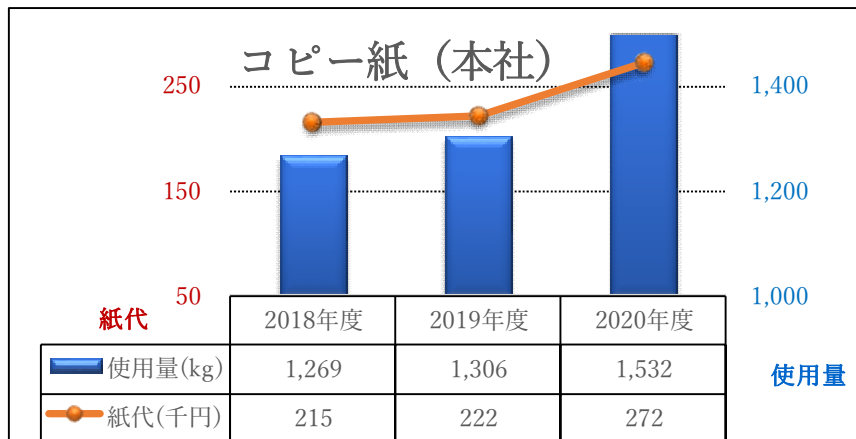
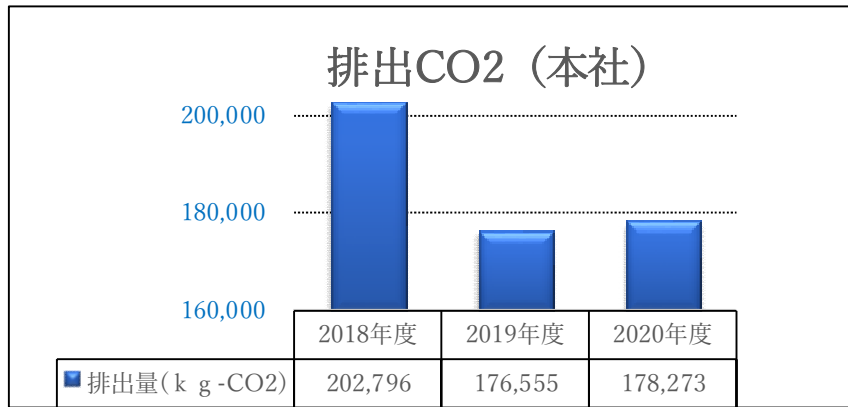
## 環境経営目標の取組結果の確認と評価

項目	単位	基準値・管理点	2020年度・72期 (2020.9~2021.8)				評価	
		2019年度・71期 (2019.9~2020.8)	目標		実績			
			数値	基準値比	数値	基準値比		
1. 電力使用量	kWh	81,072	80,261	△1.0%	83,783	+3.3%	×	
2. 燃料 使用量	(1)ガソリン	ℓ	57,636	—	—	60,986	+5.8%	—
	(2)軽油	ℓ	4,321	—	—	1,628	△62.3%	—
	(3)LPG	Kg	132	—	—	145	+9.8%	—
3. CO2 排出量	kg-CO2	176,555	174,789	△1.0%	178,499	+1.1%	×	
4. コピー用紙使用量	Kg	1,306	1,293	△1.0%	1,531	+17.2%	×	
5. 水使用量	m <sup>3</sup>	422	—	—	439	+4.0%	—	
6. 一般ゴミ発生量	Kg	344	340	△1.0%	459	+33.4%	×	
7. 産業廃棄物発生量 (会社全体数量)	t	14,766	—	—	12,889	△12.7%	—	
8. 省エネ製品の宣伝・普及	普及製品数		6 件以上		14 件		○	
9. 省エネ・省資源につな がる部門取組の推進 (定性目標として評価)	(事業部門) 粗利益の改善		工期短縮		工期短縮		○	
	(営業部門) 受注件数の増		補助金の調査・活用		補助金の調査・活用		○	
	(事務部門) コストの削減		ムダの排除		ムダの排除		○	
原因及び是正等のコメント								
未 達 成 項 目	<p>1. 電力使用量 年明け後(1月~3月)の使用量の増加が著しく年間の累計使用量を押し上げた。事務所の換気を定期的に行う新型コロナウイルス感染防止対策も増加要因(エアコンへの負荷)となった。社員全員の省エネ意識を高め、ハード面の対策として、本社社屋のLED化がされていなかった照明を全てLEDに交換する。尚、電気代については、最大需要電力の改善と基本料金の値下げで年間19.8万円減となった。</p>							
	<p>2. CO2 排出量 軽油は大幅に削減されたが他の項目(電気・ガソリン・LPG)の使用量が増加し全体的に排出量を引き上げた。コントロールしにくい項目も含め省エネの取り組みを継続していく。</p>							
	<p>3. コピー用紙使用量 年明け後の増加傾向に歯止めがかからなかった。現場事務所のない現場の本社での使用量の増加が未達成要因となった。書類のペーパーレス化の取り組みを強めていく。</p>							
	<p>4. 一般ゴミ発生量 新型コロナウイルス感染防止対策のためのペーパータオル使用量の増加が未達成要因となった。基本的な取り組み(ペーパータオル節約・紙類の分別等)を徹底していく。</p>							
達 成 項 目	<p>1. 省エネ製品の宣伝・普及 昨年の特種要因(特定の大型JV工事への技術者配置が集中し他の工事受注が停滞)が解消され、対象工事の受注が回復した。</p>							
	<p>2. 省エネ・省資源につながる部門取組の推進 各部門で重点テーマを設定し継続的に取り組みが進められている。</p>							

＜主要数値の3か年推移グラフ（本社）＞







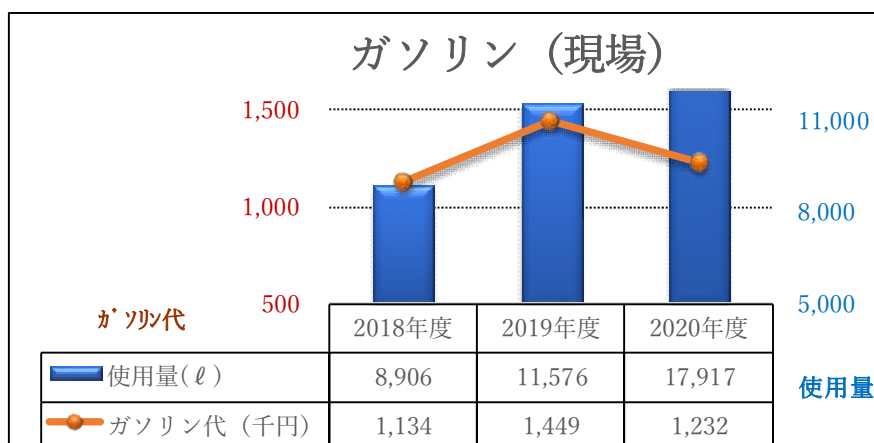
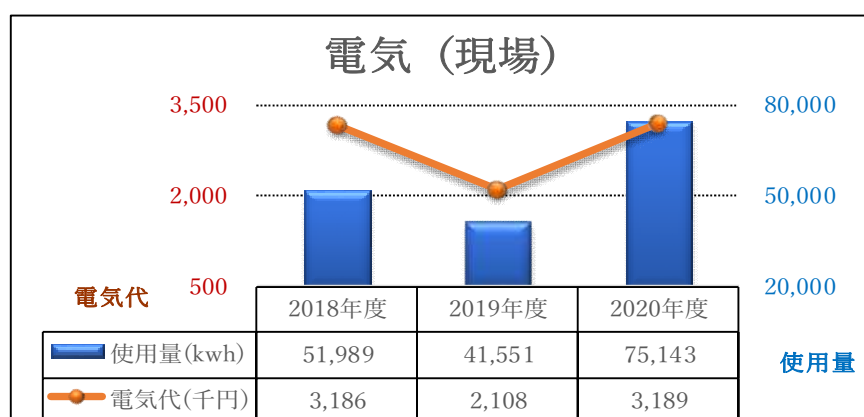
### 〈参考〉 現場の主要数値の3か年実績

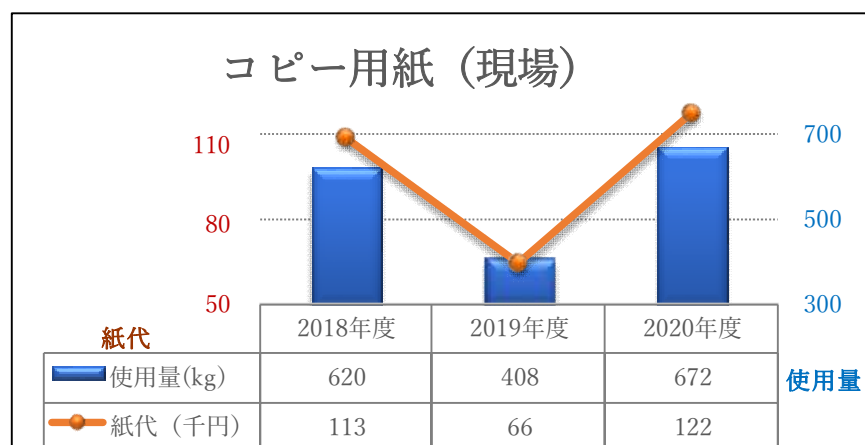
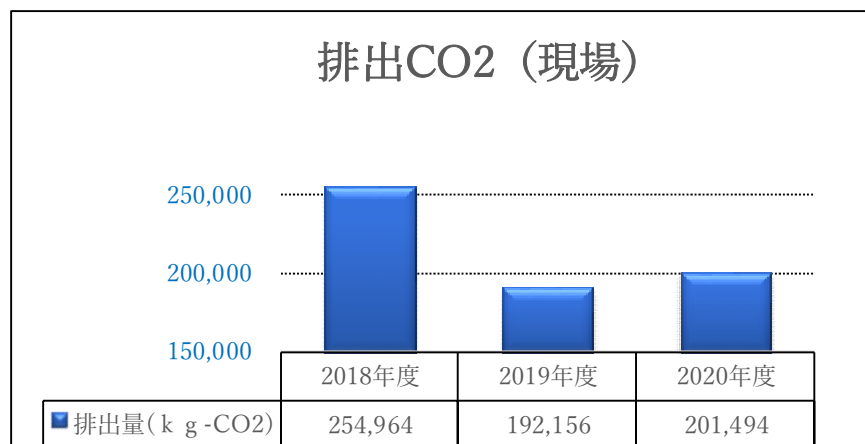
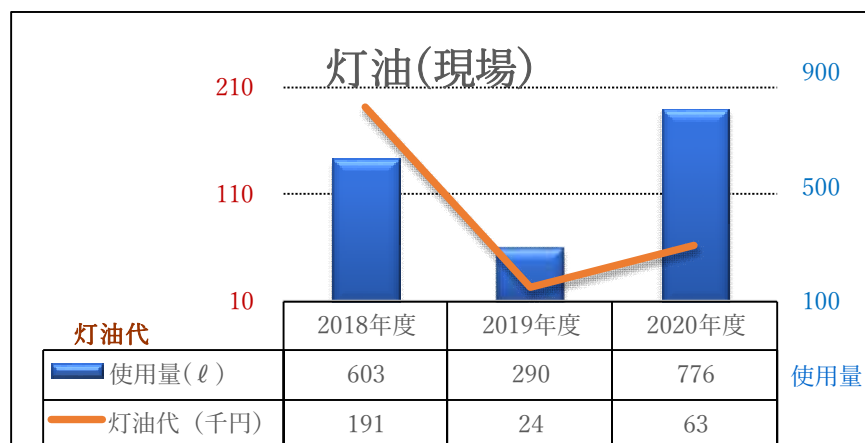
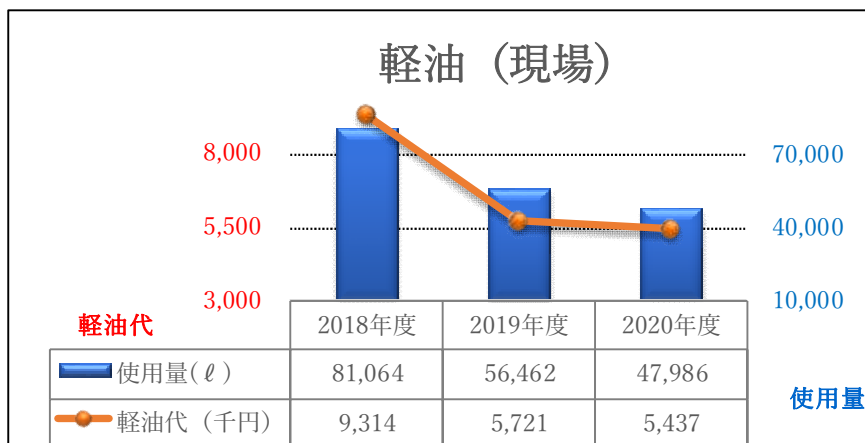
現場については、受注した工事内容(数・種類・規模等)により数値が大きく左右され数値統制ができないため、目標数値は定めなが削減に努める。3年間の実績数値の動きは以下の通り。

項目		単位	2018年度・70期 (2018.9~2019.8)	2019年度・71期 (2019.9~2020.8)	2020年度・72期 (2020.9~2021.8)
1. 電力使用量		kWh	51,989	41,551	75,143
		前年比		△20.0%	+80.8%
2. 燃料 使用量	(1) ガソリン	ℓ	8,906	11,576	17,917
		前年比		+29.9%	+54.7%
	(2) 軽油	ℓ	81,064	56,462	47,986
		前年比		△30.3%	△15.0%
3. CO2 排出量		kg-CO2	254,964	192,156	201,494
		前年比		△24.6%	+4.8%
4. コピー用紙使用量		Kg	620	408	672
		前年比		△34.1%	+64.7%
5. 水使用量		m <sup>3</sup>	486	878	435
		前年比		+80.6%	△50.4%

※電力のCO2 排出係数(調整後)は、0.455 kg-CO2/kwh(2019・H30年度東京電力株の数値)とする。

### 〈主要数値の3か年推移グラフ(現場)〉





環境経営計画の取組結果の確認と評価及び次年度取組内容

取組	活動	判定	コメント	次年度の取組内容
(1) 電力使用量の削減	①節電運動の展開 ②ケルビズ、ウォームビズ運動	○	・不要照明の消灯、エアコンの設定温度管理は徹底できた。 ・ケルビズ、ウォームビズ運動は計画通り実施できた。	・エアコンの設定温度管理を重点に同様の取組を継続する。
(2) コピー用紙使用量の削減	①片面コピー紙の再利用 ②プリンター確認と試しコピーで印刷ミスの削減	○	・片面コピー紙の再利用(裏紙利用)を重点にコピー用紙の削減に努めた。また、メール配信やサーバー閲覧を心がけ、紙の使用量の削減に努めた。	・片面コピー紙の再利用を重点に同様の取組を継続する。
(3) 一般ゴミの削減	①紙ゴミ分別の徹底 ②再利用可能なファイルの回収	△	・コロナ対策のペーパータオルの使用が増加の主要因となった。紙ゴミ分別については、E A21 担当による日常的な点検と社員への声かけに努めた。	・紙ゴミ削減を重点に同様の取組を継続する。
(4) 燃料使用量の削減	①車両・重機の省エネ運転の励行 ②運転者への教育の徹底と協力要請 ③対象車両の燃費調査継続	○	・現場数が大幅に減少したが、安全教育と連動させた協力業者社員への省エネ運転教育は継続的に実施できた。 *43 現場で 149 社・402 人(井出組社員も含む)に実施。 ・本社管理車両の1年間の燃費調査を継続できた。 *軽油 8.6km/l(昨年 10.1km/l) ガソリン 11.9 km/l(昨年 11.8km/l)	・同様の取組継続で省エネへの協力要請を行う。 ・燃費調査を継続しデータを蓄積する。
(5) 水の使用量の削減	①節水の励行(手洗い等で蛇口をこまめに閉める習慣の徹底)	○	・日常的に節水活動に努めた。	・節水の意識づけの取組を継続する。
(6) 産業廃棄物量の適正化	①廃棄物量実績把握の継続 ②廃棄物の分別推進	○	・数量管理は、マニフェストにより正確に処理されている。 ・現場毎に分別及び再資源化に努めている。	・同様の取組を継続する。
(7) 製品・サービスに関する取組み	①省エネ製品の導入状況の把握 ②省エネ製品の宣伝・普及	○	・省エネ製品(ソーラー、エコキュート、エコウォッシュ、ペーパーレス等)の導入状況の調査は継続できた。 ・宣伝・普及の活動を進めた。前年の特殊要因が解消し対象工事の受注が増加し普及が進んだ。	・同様の取組を継続し省エネ製品の普及に努める。
(8) 社会貢献・環境改善活動の推進	①会社周辺の清掃活動(月1回) ②エコキャップ運動(ペットボトルのキャップ回収)	○	・コロナ禍の中で、富士市環境美化事業「クリーンパートナー」の清掃活動(毎月1回土曜)や協力会と共催の年1回(11月)の地域清掃大行動は計画通りに実施できた。 ・エコキャップ運動の取組では、会社や家庭で集めたキャップが累計 233,874 個(昨年比+8,170 個増)となり、ボランティア 292 人分・CO2 削減 1,812 kg分に到達した。 (換算単位) キャップ 800 個でカチン 1 人分・CO2 削減 6.2 kg分	・同様の取組を継続する。
(9) 環境教育の実施		○	・社員全員が参加する全体会議(月1回)を適時活用し、取組に向けて社員の意思統一、課題の共有化、活動の進捗報告等を実施した。	・同様の取組を継続する。
(10) 省エネ・省資源につながる部門取組の推進		○	・部門毎に重点テーマ(事業部門は工期短縮、営業部門は補助金の調査・活用、事務部門はムダの排除)を設定し継続的に取り組んだ。	・具体的取組を継続する。

## 環境上の緊急事態の準備及び対応

通常の地震・火災以外には想定されない。

「年度安全衛生管理計画」に基づき、防災訓練及び防災教育を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、今年度についても、安否確認の訓練のみとし、例年、実施している初期消火訓練や防災教育等の複数の人が1ヶ所に集まる訓練は中止した。

	日付	内容
防災訓練	2021/9/2 19:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年と同様に、就業時間外での大地震を想定して、安否確認訓練を実施した。安否確認システムを使っての情報伝達訓練として、社員の携帯電話による操作と送受信状況について、昨年よりも改善するかを検証した。当日までに回答なしが12名おり、昨年8名より悪化した。</li> <li>・NTT 災害伝言サービス(伝言板web171)の操作方法を体験し、災害時の家族間の連絡手段の一つとして活用できるようにした。</li> </ul>
防災教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画なし(新型コロナウイルス感染防止対策のため)</li> </ul>

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 1. 環境関連法規等の遵守状況

(実施日:2021.8.1 評価者:環境管理責任者)

法規則等の名称	適用項目・内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	を処理業者との委託契約書締結・保管	○
	委託業者の許可証の確認	○
	マニフェストの交付・回収・保管(5年間)	○
	減量化計画の提出と実施状況の報告、マニフェスト交付状況の届出	○
	管理責任者の設置、委託先の実地確認	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	特定建設資材の分別と再資源化の実施・報告・記録、対象工事の届出	○
騒音規制法	著しい騒音・振動に係る指定地域内での特定建設作業の届出と規制基準の遵守	○
振動規制法		
フロン排出抑制法	本社空調機器の点検	○
大気汚染防止法	特定粉じん等排出作業の石綿有無の事前調査・報告、その結果を工事場所に掲示、除去作業ありは実施届出	○
浄化槽法	本社浄化槽の保守点検・水質検査	○
消防法	防火管理者の配置、消防設備の維持管理	○

\* 環境基本法や環境基本条例等の事業者の一般的責務としての法令については省略する。

### 2. 違反、訴訟等

当社における環境関連法規に関する違反はなし。なお、関係機関よりの違反等の指摘、訴訟等もなし。

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

(実施日：2021.11.1 評価者：代表取締役 井出正浩)

### 1. 見直し関連情報

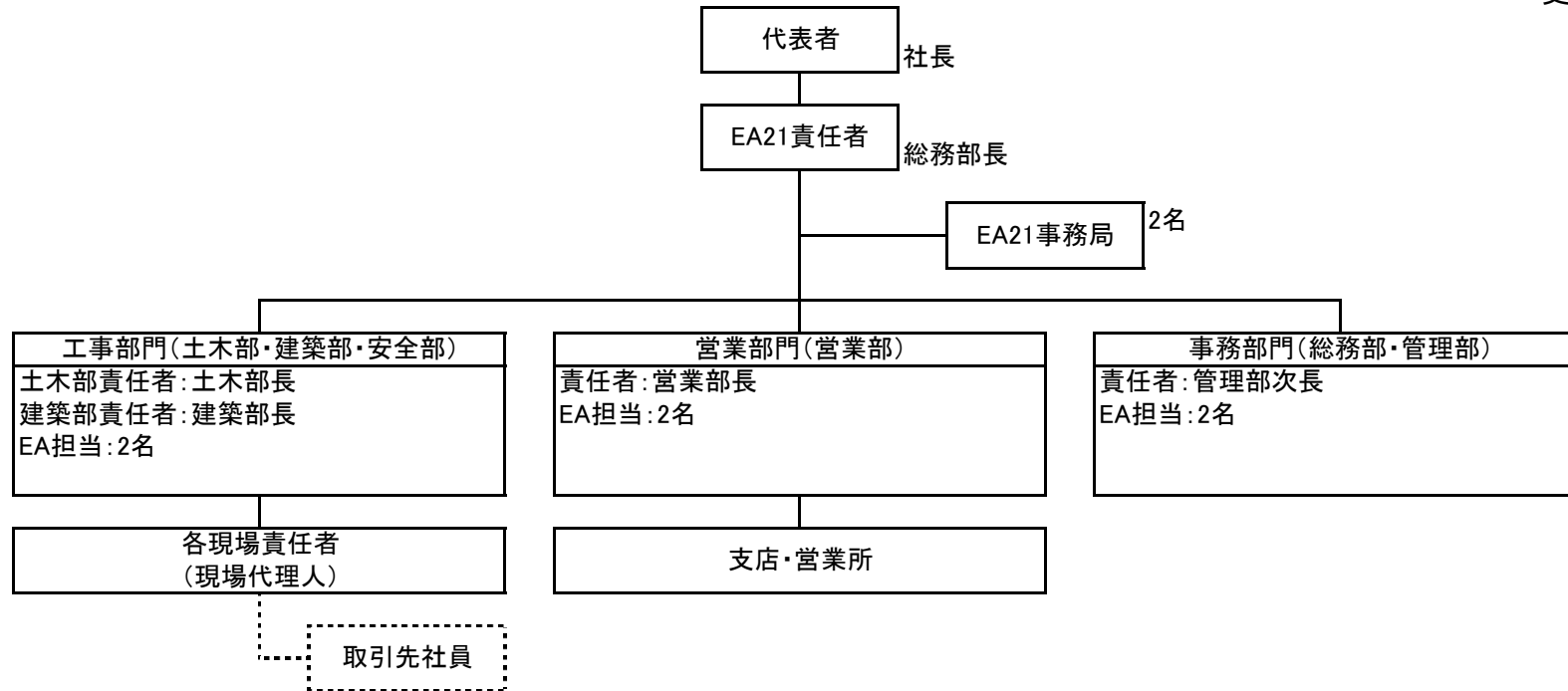
	項目	確認：(必要に応じてコメント)
(1)	エコアクション21 文書	<input checked="" type="checkbox"/> :
(2)	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> :
(3)	環境経営計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> :
(4)	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> :
(5)	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> :
(6)	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> : 電力使用量、コピー用紙使用量、一般ゴミ発生量
(7)	その他	<input type="checkbox"/> :

### 2. 全体評価・コメント(環境経営システムの有効性、環境経営への取り組みの適切性等)

- (1) 新型コロナウイルス感染防止対策を第一優先にしたため、計画通りに活動を進め統制していくことが難しい1年であった。エコアクション21を導入して11年目となり、地道に活動を展開して来ているが、引き続き、活動を後退させないように、省エネ・省資源等の取り組みに対する社員の理解・意識を前進させていくこと。
- (2) 環境経営目標の未達成項目(電気使用量、CO2排出量、コピー用紙使用量、一般ゴミ発生量)が多く発生した。継続的な活動の成果で数値が抑制傾向にあり、悪化要因が一つでも発生すると未達成になりやすい状況にあるが、定期的な点検活動を強め、数値の進捗や必要な対策について、社員への周知徹底と協力要請をこまめに行い、改善に向けての取り組みを進めていくこと。
- (3) 活動全般を通して、環境経営における取り組みのPDCAサイクルが適切に回されており、環境経営目標の達成状況や環境経営計画の実施状況等に大きなズレは生じていないので、環境経営システムは有効に機能していると判断する。

### 3. 見直し指示

	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
(1)	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
(2)	環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
(3)	環境経営計画・取組項目	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
(4)	環境経営に関する組織	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
(5)	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
(6)	その他(外部への対応等)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無



<役割と責任>

1. 社長

- (1) 環境管理システムの構築の最高責任者
- (2) 環境方針の制定、環境目標及び計画の承認
- (3) 必要な資源(人材・設備・技術・資金等)の準備
- (4) 環境管理システムの評価・見直し

2. エコアクション21(EA21)責任者

- (1) 環境管理システムの構築・運用
- (2) 環境関連法規等の遵守状況の確認
- (3) 環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況の確認・評価と社長への報告
- (4) 環境活動計画の実施状況に遅れのある時の是正及び予防措置

3. 各部門責任者

- (1) 部門の環境活動の取り組み状況の確認と必要な指示
- (2) 部門の教育・訓練及び指導
- (3) EA21事務局へ部門の取り組み報告とデータの提供

4. EA(エコアクション)担当

- (1) 部門責任者及びEA21事務局と連携し部門の環境活動の取り組み推進の補助

5. 現場責任者

- (1) 現場の環境活動の取り組み状況の確認と必要な指示
- (2) 現場社員(取引先も含む)への教育・訓練及び指導

6. エコアクション21(EA21)事務局

- (1) 環境目標及び計画(案)の策定
- (2) 取り組み実施に必要なデータの取りまとめ
- (3) 環境関連法規の収集及びチェック
- (4) 環境活動の取り組みに必要な教育・訓練の実施
- (5) 環境レポート等の文書作成
- (6) 外部からの環境に関する苦情や要望の窓口